



～子ども達の未来のために～

今回は、小中学校についての疑問にお答えします。

Q2 先生の人数はどのように決まるのですか？

A 1つの学校に配置される先生の人数は、国によって示された人数を標準として埼玉県教育委員会が定数を定めます。学級数により先生の人数が決まる仕組みです。

(例) 中学1年～3年生まで全て2学級のとき基準となる学級数は6。配置される先生の人数は校長を含めて12人とされています。

複式学級

小学校の場合、2つの学年の合計人数が16人以下の場合には、2学年で1学級を編成することとなっています(2つの学年に小学校1年を含む場合には8人以下)。これを複式学級といいます。

Q1 1学級の人数はどのように決まるのですか？

A 1学級の児童生徒数は、法律によって示された数を標準として埼玉県教育委員会が基準を定め、市町村の教育委員会が児童生徒の実態を考慮して決定します。

埼玉県の基準(令和3年度)

小学校1・2年生の場合

36人が2学級となる基準です。

(例) 35人の場合は1学級、36人になると2学級です。

小学校3年生以上(中学生を含む)の場合

41人が2学級となる基準です。

(例) 40人の場合は1学級、41人になると2学級です。

保護者アンケートの集計結果について

保護者の方を対象とした学校教育についてのアンケート結果を町ホームページに掲載しました。[町ホームページ](#)を検索または右記のQRコードからご覧ください。



こちらのQRコードを読み取ってください

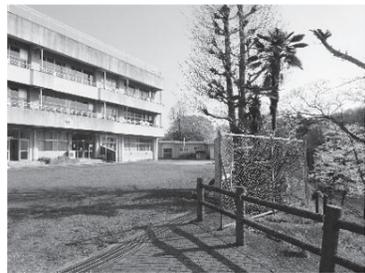
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

問合せ 教育委員会事務局 ☎62-0823

教育の広場



七郷小学校



学校の歴史

明治6年に「杉山学校」として創設された本校は、明治22年に「七郷尋常小学校」と改称、大正15年には校歌を制定し、昭和22年に「七郷小学校」と改称して今日に至っています。なお「七郷中学校」が昭和22年に併置され、昭和59年に廃校となりました。

子供たちは素直で明るく、遠い子では1時間以上の時間をかけて学校に通っています。**児童数・学級数の推移と現状について**

本年8月の児童数は69名ですが、最も多い年には、600人を超えたこともありました。学級数も12から13を数えていましたが、

新型コロナウイルス対策

最近では8クラスとなっています。今年度も、新型コロナウイルス感染症は収束せず、学校でも感染症対策を行っています。これまでと同様、教室内での机の間隔を十分に開け、マスクの着用・換気・手洗い・消毒の徹底をしています。昨年度、検温カメラを購入・設置し、来校者の検温を行っています。また、水道の蛇口もレバー式にすることで接触の機会を減らしています。その他、スプレー型電次亜水成装置を購入し、教室等の消毒を行うなど、感染用対策を行っています。

学校行事

新型コロナウイルス対策もあり、例年通りとはいきませんが、感染症対策を取りながら、学校行事を実施しています。4月13日に、1年生を迎える会が開かれ、レクを行い1年生と仲よく遊ぶことができました。5月14日には、全校で七郷めぐりを行い、縦割り班で活動することで、様々な学年の子供たちがぎゅなを深めると同時に、6年生はリーダーシップを発揮することができました。6月5日には運動会を実施しました。各学年が、



問合せ 七郷小学校 ☎62-12307

地域との連携

5月15日運動会の準備としてPTAによる除草作業が行われました。5月18日には、3年生が嵐山町立図書館を見学、6月10日には、4年生がオオムラサキの森を見学しました。6月15日には、2年生が金泉寺でザリガニ釣り、7月6日に太陽インキ製造(株)を見学しました。その他、毎朝登校時には地域の方々がボランティアとして子供たちの見守り活動を行ってくださっています。

児童の豊かな心づくりや学力向上のために、忙しい中、お力添えをいただき、心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また、算数では、タブレットを使ったドリル学習を行い、子供一人一人に合わせた指導が展開できています。高学年では、発表にパワーポイントを用いるなど様々な場面でタブレットを活用しています。

七郷小学校では今年度、ICTの効果的な活用方法を学校課題として取り組んでいます。子供たちの学習意欲を高め、学力の定着を図れるよう全力で取り組んでいきます。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。